

## 編集後記

○論集の体裁、論集の内容等が従来と多少変わったことに対し、前任委員の良き忠言によったものが多く、一同感謝いたして居ります。

○執筆者、協和印刷の大田氏の協力で予定日に発行出来ることは感謝のいたりです。それに今回から東洋講座のある米国の大学及び本山より派遣されて居る開教使の滞在する北米の若干の寺院に寄贈することにした。

○巻頭に今小路学長の言を期待していましたが、東奔西走、席の温まる暇のない現状では無理でしたので、六〇年前、ベルリン大学で理性主義、主知主義に反対し、生の体験、表現、理解の連関性において文芸学を確立したディルタイの科学分析を越えた文学の使命論を叫んだ詩を拝借した。我が学園の研究室の雰囲気を示唆して居ると思う。

○今回から学園後援会から出版費の一部助成が得られるようになり、編集委員一同安堵、衷心から謝意を表します。

(荒井記)

## 編集委員

荒井貞雄  
田中重太郎  
塩野緑子  
馬淵卯三郎

昭和三十五年十一月五日 印刷  
昭和三十五年十一月十日 発行

大阪市東区本町四丁目

編集兼 相愛女子大学  
発行者 相愛女子短期大学

京都市東山区東大路松原上ル

印刷所 協和印刷株式会社  
電話代表〇七三二一三

大阪市東区本町四丁目

発行所 相愛女子大学  
相愛女子短期大学

電話大阪〇三九九四番(代表)  
〇三九五八番(昼・夜間)  
八八八〇番(昼・夜間)